

東日本大震災ルーテル教会救援

Japan Lutheran Emergency Relief 【JLER】

ルーテル教会救援 現地活動 月次報告 No.18

2013年4月度 活動報告 (2013年5月28日発行)



東日本大震災で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。
またルーテル教会救援の活動にご理解・ご協力いただいている
皆さまに心より感謝いたします。



しばらく寒さが続きましたが、4月の中旬にはソメイヨシノが咲き始め、下旬には山桜が柔らかな春の到来を告げていた被災地です。一方で、とても風が強い日も多く、仮設住宅が大きく揺れて怖い想いをされたり、工事現場の近くでは砂塵が舞い、目が開けられないほどのところもありました。さまざまな風景が重なり合う被災地での、4月の活動をご報告いたします。



【となりびと】「つるしびな」全国巡回展



石巻市河北町の仮設団地に住む皆さんが手作りされた「つるしびな」の全国巡回展が始まりました。4月13日には広島県東広島市の西条教会、20日には愛知県豊田市の挙母（ころも）教会で、24日にはルーテル学院大学、25日には議長会及びルーテル教会救援本部対策会議、29・30日には国立オリンピック青少年総合センターでの日本ルーテル教団伝道フォーラム全国大会にて披露されました。



【となりびと】クヌーテン講演会



4月24日、東京都・三鷹市にあるルーテル学院大学で行なわれたクヌーテン講演会に、となりびとスタッフ佐藤と、石巻市在住でとなりびとの活動を多方面と繋いでくださった斎藤みや子さんが登壇しました。時折涙を浮かべながらも、震災当時の様子を力強くお話くださった斎藤さんの想いは深く学生の心に届いたことと思います。終了後、同校の礼拝に出席しました。

【となりびと】報告会



4月6日、石巻市北上町で支援活動を行っている団体等が仙台に集まり開催したシンポジウムで、となりびとスタッフもこれまでの支援活動について報告しました。また、3月に防災・減災教育プログラムに参加した聖望学園高校ハイスクールYMCAの皆さんが、4月22日～24日、同校での礼拝の中で、プログラムの報告をしてくださったそうです。

【となりびと】被災地の風景



近頃、被災を題材にした書籍だけでなく、地域の文化を伝えようとする内容のものが、地元の方の著作によって出版されるようになりました。『奥松島物語』は、すみちゃんの家近くである“野蒜（のびる）”や、“宮戸島”周辺の歴史や文化について書かれています。『北上方言集』は北上町十三浜の佐藤清吾さんの長年の成果が詰まった、素晴らしい内容です。仙台教会に置いてあるので、お越しの際はぜひご覧下さい。